

会報の発刊にあたって

郡上市は、岐阜県内において、高山市に次いで文化財の多い自治体です。その郡上市の中にあつて、高鷲町は、人口が八幡、白鳥、大和、美並に次ぐ町ですが、文化財の数からすると極めて少ないところとであり、貴重な文化財の保管場所（博物館または収蔵施設）がない地域であります。

しかし、高鷲町内には未だ発見されていない、知られていない貴重な文化財が数多く眠っています。本協会では、皆さんと力を合わせて、新しい文化財の発見と今まである文化財を今一度見つめ直し、ふるさと高鷲の文化の向上につなげていきたいと思っています。そのための第一歩として本年度から『会報 高鷲の文化財』を発行し、会員の皆さまに情報を伝えていきたいと思っています。

現在（平成22年4月）、会員は52名と少ないですが、本協会は皆さんの力で成り立っている会です。多くの方の参加を期待するとともに、皆さまのご協力を願います。

平成22年度新役員決まる

平成22年4月26日、白鳥町石徹白上在所の上在所コミュニティセンターで、平成22年度の総会が開催され、平成21年度事業報告・決算報告および平成22年度事業計画・予算が承認されました。さらに、役員の変更が行われ、下記の方々が本年度と来年度の役員に選出されましたので、報告します。

会長：馬淵 旻修（向鷲見）
副会長：和田 和美（切立）、山下 さとし（鮎走）
会計：瓢子 傳明（中洞）
理事：森 弘美（鮎走）、西脇 清美（切立）、山田 幸博（正ヶ洞）
林 幸男（向鷲見）、宇田 勇委智（向鷲見）、三島 道雄（中洞）
仲谷 常夫（中洞）、和田 道明（中洞）、鈴木 吉郎（ひるがの）
松井 武（西洞）
監事：鷲見 尚武（中洞）、中屋 保則（ひるがの）
顧問：麦島 博昭（正ヶ洞）、山田 幸男（白鳥町）
事務局：本田 真奈美（郡上市教育委員会地域教育課）

以上の皆さん、よろしくお願ひします

今年もひるがの地内ギフチョウの保護巡回を実施

今年も例年どおり、天然記念物として郡上市重要文化財に指定（棲息地）されているギフチョウの保護巡回を郡上市観光協会ひるがの支部の協力によって、5月20日から6月16日までの4週間にわたって行いました。

5月は例年になく寒い日が続きましたが、6月になり晴天で暖かい日が多くなり、レンゲツツジが咲きほこるひるがの高原で、ギフチョウの飛来する姿が多く見られました。また、ギフチョウノ棲息地であるカンアオイを採取する人やギフチョウを捕獲する人はありませんでしたが、郷土の天然記念物を大切に保護するためにも本協会としては継続して巡回を行っていきます。



高鷲文化財ガイドより引用